

# みどり市議会だより



## 保育施設の運動会

平成 29 年度に保育所から認定こども園へ移行したみどりのもり（旧 笠懸北保育園）の運動会は、平成 21 年秋からみどり市民体育館を使用し開催しています。

さわやかな秋晴れの中行う運動会もすばらしいですが、天候に左右されない室内での運動会は、子どもや保護者にとって当日に向けて集中して取り組めるなどの声が聞かれます。

## 平成30年 第 3 回定例会（9月）

### <主な内容>

本会議	2～3
表決結果	4～5
決算特別委員会	6～7
常任委員会	8～9
所管事務調査	10～11
一般質問	12～23
まちの声	24



平成29年度はみどり市総合計画の総仕上げの年度として、将来を見据え、未来につながる戦略を推進するための予算が編成され、地域創生総合戦略事業やまちづくり整備事業などが実施された。

平成29年度一般会計の歳入決算額は、前年度より1.3%増額となり、自主財源の根幹となる市税収入は、1.9%増加した。これは市税収納率が前年度を0.7ポイント上回り、収入未済額も15.5%圧縮できたことが要因である。収納対策に一定の成果が表れているので、財源確保及び納税の公平性の観点から、引き続き滞納額縮減に向けた取り組みに期待する。一方、経常収支比率は、地方交付税の縮減などにより、99.0%と前年度を4.4ポイント上回り、財政構造の弾力性がさらに後退した。今後は、少子高齢化等による社会保障費の増加、

公共施設の改修工事などが見込まれることから、国庫支出金や県支出金などの財源確保とあわせ、既存事業の見直しを図り、経常的経費の抑制に努められたい。歳出決算額は、前年度よりも2.8%増額となった。執行率においても93.3%と前年度を2.4ポイント上回り、翌年度繰越額と不用額とも前年度に比べ減少したが、事業立案時の調査検討不足により、事業を中断せざるを得ない事業も見受けられた。事業計画の段階において、事業目的と効果を明確化し、十分な調査研究を行い、着実な業務遂行に努められたい。



天川洋 代表監査委員

## 平成30年度 各会計補正予算一覧表 (9月補正)

会計区分	補正額	補正後の額	
一 一般会計	7億751万3千円	201億8,751万3千円	
特別会計	太陽光発電事業	1,543万0千円	7,664万5千円
	国民健康保険(事業勘定)	426万9千円	60億3,673万4千円
	国民健康保険(診療所勘定)	0	1億3,774万1千円
	後期高齢者医療	5,164万8千円	5億2,854万7千円
	介護保険(保険事業勘定)	0	44億4,504万1千円
	戸別浄化槽事業	0	412万4千円
	簡易水道事業	0	1億1,881万5千円
	農業集落排水事業	0	7,394万8千円
	下水道事業	0	13億3,408万6千円
	富弘美術館事業	0	1億2,545万8千円
	競艇事業	1,361万6千円	1,215億1,709万8千円

※補正額「0」は歳入予算の組替えを表します。

# 平成 30 年第 3 回定例会表決結果

区分	番号	会派 議員名  件名	市政 クラブ					広和 クラブ				立志 クラブ		公明 クラブ		日本 共産 党	選 一 信	無会派			合計		
			椎 名 祐 司	荻 野 忠	須 永 信 雄	田 部 井 多 市	伊 藤 正 雄	深 澤 輝 彦	古 田 島 和 茂	武 井 俊 一	大 澤 映 男	新 井 み ゆ き	阿 左 美 守	須 藤 日 米 代	宮 崎 武	高 草 木 良 江	常 見 詔 子	海 老 根 篤	上 岡 克 己	杉 山 英 行	金 子 實	賛 成 者 数	反 対 者 数
認定	第1号	平成29年度みどり市一般会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	—	16	2	
	第2号	平成29年度みどり市太陽光発電事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	18	0
	第3号	平成29年度みどり市鉄道経営対策事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	18	0
	第4号	平成29年度みどり市国民健康保険（事業勘定）特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	—	15	3	
	第5号	平成29年度みどり市国民健康保険（診療所勘定）特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	18	0
	第6号	平成29年度みどり市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	—	16	2	
	第7号	平成29年度みどり市介護保険（保険事業勘定）特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	—	16	2	
	第8号	平成29年度みどり市介護保険（介護サービス事業勘定）特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	18	0
	第9号	平成29年度みどり市戸別浄化槽事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	18	0
	第10号	平成29年度みどり市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	18	0
	第11号	平成29年度みどり市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	18	0
	第12号	平成29年度みどり市企業用地整備事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	—	16	2	
	第13号	平成29年度みどり市下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	18	0
	第14号	平成29年度みどり市富弘美術館事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	18	0
	第15号	平成29年度みどり市競艇事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	—	16	2	
諮問	第4号	人権擁護委員候補者の推薦について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	—	17	1	
議案	第17号	群馬大学医学部附属病院に係る特定機能病院の早期承認を求める意見書の提出について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	18	0	

注1) 表決結果の表示について、賛成の場合は「○」、反対の場合は「×」、棄権の場合は「棄」、除斥の場合は「除」、欠席の場合は「欠」と表示しています。  
 注2) 議長は可否同数以外の場合は、表決に加わらないため「—」と表示しています。  
 注3) 棄権…議員自らの意思により表決に参加しない場合。  
 注4) 除斥…議員は直接の利害関係にある事件については、その議事に参与することができない。（地方自治法第117条）

# 平成30年第3回定例会表決結果

区分	番号	会派 議員名 件名	市政 クラブ					広和 クラブ				立志 クラブ		公明 クラブ		日本 共産 党	選 一 信	無会派			合計		
			椎 名 祐 司	荻 野 忠	須 永 信 雄	田 部 井 多 市	伊 藤 正 雄	深 澤 輝 彦	古 田 島 和 茂	武 井 俊 一	大 澤 映 男	新 井 み ゆ き	阿 左 美 守	須 藤 日 米 代	宮 崎 武	高 草 木 良 江	常 見 詔 子	海 老 根 篤	上 岡 克 己	杉 山 英 行	金 子 實	賛 成 者 数	反 対 者 数
議 案	第63号	みどり市税条例等の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	18	0
	第64号	みどり市地方活力向上地域における固定資産税の課税の特例に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	18	0
	第65号	みどり市介護保険条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	18	0
	第66号	みどり市市民農園条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	18	0
	第67号	みどり市消防団に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	18	0
	第68号	工事請負契約の締結について (防災情報伝達システム整備工事)	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	—	12	6	
	第69号	市道の路線認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	18	0
	第70号	市道の路線変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	18	0
	第71号	平成30年度みどり市一般会計補正予算(第1号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	×	○	×	—	15	2	
	第72号	平成30年度みどり市太陽光発電事業特別会計補正予算(第1号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	×	○	○	—	16	1	
	第73号	平成30年度みどり市国民健康保険(事業勘定)特別会計補正予算(第1号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	—	17	0	
	第74号	平成30年度みどり市国民健康保険(診療所勘定)特別会計補正予算(第1号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	—	17	0	
	第75号	平成30年度みどり市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	×	○	○	○	—	16	1	
	第76号	平成30年度みどり市介護保険(保険事業勘定)特別会計補正予算(第1号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	—	17	0	
	第77号	平成30年度みどり市戸別浄化槽事業特別会計補正予算(第1号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	—	17	0	
	第78号	平成30年度みどり市簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	—	17	0	
	第79号	平成30年度みどり市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	—	17	0	
	第80号	平成30年度みどり市下水道事業特別会計補正予算(第1号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	—	17	0	
	第81号	平成30年度みどり市富弘美術館事業特別会計補正予算(第1号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	—	17	0	
	第82号	平成30年度みどり市競艇事業特別会計補正予算(第1号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	—	17	0	
第83号	工事請負契約の締結について (雨水管渠埋設工事)	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	—	14	4		
第84号	財産の取得について (消防ポンプ自動車の購入)	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	—	15	3		

# 決算特別委員会

本委員会に付託された案件は、認定第1号平成29年度みどり市一般会計歳入歳出決算の認定についてから、認定第15号平成29年度みどり市競艇事業特別会計歳入歳出決算の認定についてまでの15件である。

本委員会は、議長を除く18名で構成される特別委員会として設置され、9月12日に委員長、副委員長を選任した。9月13日、14日、18日の3日間にわたり、議場において18名の委員出席のもと、市長をはじめ執行部局の出席を求め、審査を行った。

決算審査に当たっては、執行部から提出された決算書、そのほかの資料をもとに、担当部局長、担当課長などから詳細な説明を受け、各議案を慎重に審査した。採決の結果、全議案を原案のとおり認定すべきものとするに決定した。

なお、審査の過程において、各委員から貴重な指摘及び要望、意見が述べられたことは、これらの提案を含め、今後行政執行の上で、十分留意され、改善が図られるよう執行者及び関係部局に提言する。

## 主な質疑

**問** 職員の人件費がふえているが平成28年度及び29年度の人数と支出金額は。

**総務課長** 職員数は平成28年度370名、平成29年度384名で14名増。金額は平成28年度27億7701万4376円、平成29年度28億1023万4719円で約3322万円増になる。嘱託員数は平成28年度98名、平成29年度97名。金額は平成28年度2億4760万2220円、平成29年度2億5168万5518円で約408万円増。臨

時職員数は平成28年度237名、平成29年度227名で10名減。金額は平成28年度2億7215万8663円、平成29年度2億5668万1862円で約1547万円減。正規職員については平成29年度では、定年退職者数より新規採用者が大幅増になった。

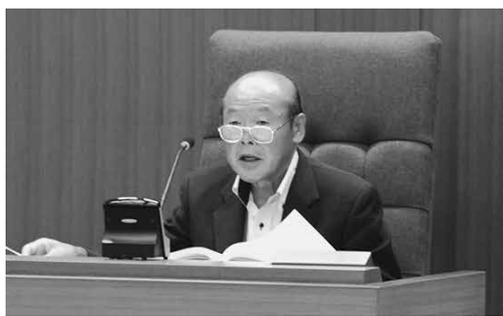
**問** 競艇場外発売所のななぶ、福島、津幡の場外売り上げに対し、受託事業収入はいくらになるか。

**競艇事業局総務課長** ななぶ、福島は売り上げの0.5%。行政間協定が結ばれている。津幡は1%になっている。

**問** 東町の路線バスにおいて、車内アナウンスにみどり市観光大使の起用、車体ラッピングなどを行ったが、平成28年度決算より乗車人数が減少した。要因についての分析は。また、観光政策の面からの事業成

果はどのように考えているか。

**企画課長** 平成28年度中の乗車人数の減少については、東町自体の人口減少が毎年進んでおり利用者も減っていること、また、昨年度はわたらせ渓谷鐵道の脱線事故に伴い一時的に路線バスの利用者が少なくなりましたことがあげられる。事業成果については、車体ラッピングをした月と前年度同月を比較したところ、乗車人数の増加が見られ、観光の面からも一定の成果はあったと考えている。



阿左美 守 決算特別委員長

## 会議録を公開しています

市議会の会議録を公開しています。市のホームページにも掲載していますので、ぜひご覧ください。

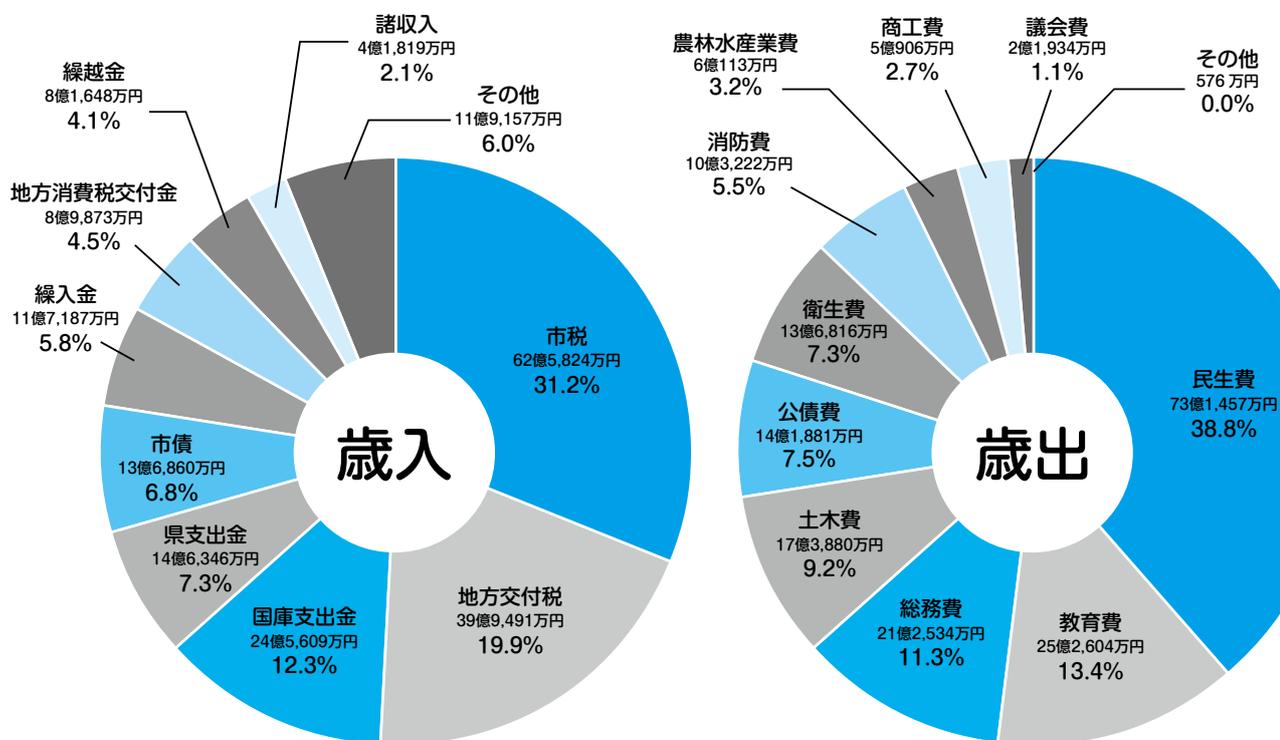
ホームページアドレス

<http://www.city.midori.gunma.jp/gikai/>



# 平成29年度 決算概要

一般会計	入ってきたお金	使ったお金
合計（内訳は下のグラフの通り）	200億3,814万円	188億5,923万円



特別会計	入ってきたお金	使ったお金
太陽光発電事業特別会計	7,731万円	4,014万円
鉄道経営対策事業特別会計	8,619万円	8,619万円
国民健康保険（事業勘定）特別会計	66億3,410万円	65億1,782万円
国民健康保険（診療所勘定）特別会計	1億2,870万円	1億1,923万円
後期高齢者医療特別会計	5億430万円	5億170万円
介護保険（保険事業勘定）特別会計	43億280万円	42億2,757万円
介護保険（介護サービス事業勘定）特別会計	1万円	1万円
戸別浄化槽事業特別会計	409万円	349万円
簡易水道事業特別会計	1億1,229万円	1億395万円
農業集落排水事業特別会計	7,631万円	7,330万円
企業用地整備事業特別会計	150万円	0円
下水道事業特別会計	11億7,156万円	11億1,985万円
富弘美術館事業特別会計	1億4,673万円	1億3,941万円
競艇事業特別会計	1,061億166万円	1,057億6,804万円

## 総務文教 常任委員会

本委員会は執行部出席のもと9月21日に開催した。

### 付託された議案

#### ●消防団に関する条例の一部を改正する条例

消防力の維持、強化を目的として、みどり市消防団に機能別消防団員制度を導入するため、みどり市消防団に関する条例を改正するものであり、主な改正内容は消防団員に基本消防団員と機能別消防団員の種類を設け、それぞれの報酬を定めるもの。

討論はなく、採決の結果、挙手全員により可決すべきものと決定。

#### ●工事請負契約の締結

大規模な地震や土砂災害等を背景として、市内全域を網羅した情報伝達システムを整備するもの。予定価格が1億5000万円を超えることから地方自治法第96条第1項第5号及びみどり市議会の議決に付すべき

契約及び財産の取得又は処分に関する条例第2条の規定により議決を求めらるもの。

契約方法は、随意契約の公募型プロポーザル方式により、最優秀の提案者である(株)協和エクシオを工事請負契約の相手方とし、4億9032万円で契約を締結しようとするものとの説明。伝達する情報についての質疑あり。防災情報に限らず行政情報も流すとの説明。事業費の総額は、次年度の継続費と合わせ4億9032万円であることや、保守については、



提案者からの提案に沿って保守契約をしていくとの説明。低い土地への基地局の設置は電波状況に注意を払うべきとの意見あり。

討論はなく、採決の結果、挙手全員により可決すべきものと決定。

#### ●財産の取得

平成10年8月に購入したみどり市消防団第13分団消防ポンプ自動車について、みどり市消防団車両更新計画に基づき、車両の更新を行うものであり、予定価格が2000万円を超えることから、地方自治法第96条第1項第8号及びみどり市議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第3条の規定により議決を求めらるもの。

契約方法は、7者による指名競争入札により、落札者である(株)モリタ東京営業部を契約の相手方とし、2239万1170円で契約を締結しようとするものとの説明。

討論はなく、採決の結果、挙手全員により可決すべきものと決定。

### 付託された請願

#### ●地方財政の充実・強化を求める請願

継続審査となっていたもので、引き続き検討を要するということ意見あり。

採決の結果、賛成多数により継続審査に決定。

## 市民福祉 常任委員会

本委員会は執行部出席のもと9月19日に開催した。

### 付託された議案

#### ●税条例等の一部を改正する条例

市民税では、給与所得控除及び公的年金等控除から基礎控除への振り替えに伴う均等割非課税限度額の引上げを行う。固定資産税では、再生可能エネルギーの発電設備等に係る課税標準の特例措置について、設備区分及び特例割合の見直しを行う。たばこ税では、一般の紙巻きたばこの税率引上げや、加熱式たばこの課税方式を見直し、新換算方

式への移行を行うもの。

現状のみどり市民の所得階層でいくと、どのくらいの人たちに影響があり、その試算をしてあるのか。資産税関係では、市内に該当する施設があるのかについて質疑あり。所得階層で何人というのは把握していない。市に対象施設は現在のところないとの説明。

討論はなく、採決の結果、挙手全員により可決すべきものと決定。

#### ●地方活力向上地域における固定資産税の特例に関する条例の一部を改正する条例

地域再生法等の改正により、群馬県の地域再生計画に基づく計画認定期間が平成32年3月31日まで延長されたことに伴い、固定資産税に係る不均一課税の適用期間を延長するため、改正するもの。

対象事業が移転型と拡充型ということで、県内で20件を目標としているが、みどり市では見込みがあるのか質疑あり。県内の実績は全体で4件。みどり市の該

当は1件もないとの説明。  
賛成討論があり、採決の結果、挙手全員により可決すべきものと決定。

### ●介護保険条例の一部を改正する条例

介護保険法施行令が改正され、引用条項にずれが生じたため、改正するもの。

討論はなく、採決の結果、挙手全員により可決すべきものと決定。

### 付託された請願

●若い人も高齢者も安心できる年金制度である全額国庫負担の最低保障年金制度創設を政府に求める請願

低年金や無年金であるお年寄りが生活保護にいくという状況があり、生活保護を受けるということではなく、全ての高齢者が一定の年齢に達したら基本的な生活を支える最低保障の年金制度を国がこれからつくっていかねばならないのではないか。

満額支給額の半分を上限にして支払っても、掛け金を掛けていた人に対して不公平にならない、額は少な

くなったとしても、日本国民ということだけで年金を支払ってもおかしくはないという賛成意見あり。

また、継続審査ということで、その後その請願を出した方から、まだ不足する部分を説明する資料等はないということでは判断のしようがない。審査に必要な部分に当たっていただかないと、3カ月前と状況は変わっていない。年金保険料を払っていない人も払った人も全員がもらえるという感覚は、日本の体制からいつて受け入れがたい。委員より、継続審査を求める意見が出され、採決の結果、挙手全員により継続審査に決定。



## 経済建設 常任委員会

本委員会は執行部出席のもと9月20日に開催した。

### 付託された議案

#### ●市民農園条例

市民が農作物を栽培し、自然にふれ合うとともに、農業に対する理解を深めることを目的とした市民農園を設置するため、地方自治法第244条の2第1項の規定に基づき、みどり市市民農園条例を制定するもの  
であり、条例の主な内容としては、市民農園の名称及び位置、利用の許可、使用料などを定めるもの。

市民農園を利用できる者として、第4条第3号における「市長が適当と認める者」とはどのような者を想定しているのか、との質疑あり。みどり市に住所を移す予定のある者であり、その場合は土地が余っている場合に限るとの説明。  
討論はなく、採決の結果、挙手多数により可決すべき

ものと決定。

#### ●市道の路線認定

市道笠懸2315号線及び市道笠懸3217号線は、土地開発によって築造された新設道路の寄附を受けたため認定するもの。

討論はなく、採決の結果、挙手全員により可決すべきものと決定。

#### ●市道の路線変更

市道大間々6152号線は、道路としての利用形態がなく、道路用地の一部を法定外公共物として管理するため、起終点の変更を行うもの。

討論はなく、採決の結果、挙手全員により可決すべきものと決定。

#### ●工事請負契約の締結

笠懸町阿左美地内の雨水排水対策として、推進工法により雨水管渠埋設工事を行うものであり、予定価格が1億5000万円を超えることから、地方自治法第96条第1項第5号及びみどり市議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第2条の規定により

議決を求めるもの。契約方法は、1者による条件付き一般競争入札（事後審査方式）により、落札者である河本工業㈱を工事請負契約の相手方とし、2億6200万8000円で契約を締結しようとするものとの説明。

こうした工事については、計画段階から早期の説明を求める意見や落札率99・9%であることから競争原理が働くような方法を検討する必要があるのではとの意見あり。  
討論はなく、採決の結果、挙手多数により可決すべきものと決定。



## 所管事務調査報告

### 議会運営委員会

本委員会は平成30年8月9日から10日まで、所管事務調査を実施した。

●視察地 福島県会津若松市

●調査内容 議員間討議について

会津若松市議会では、さまざまな議会改革に取り組み、議員間討議も行われている。平成20年6月に会津若松市議会基本条例を制定し、この前文の中で、「議員同士が自由闊達な議論を戦わせ、そのような中から、論点や課題を明らかにし、意見を集約していくことが必要である。」とうたっている。これが議員間討議が根付いた元となっている。

議員間討議とは、議題や議案に対して議員が調査した知識を持ち寄り、論点、争点を明らかにして討議し合意形成を図るというものである。

会津若松市の議員間討議



の事例では、広島平和記念公園などへ生徒を派遣して学習する事業の削減案を執行部が委員会協議会において示した際、議員間討議により却下した事例があった。財政面から事業継続が難しいということであったが、議員間討議により、論点を財政面だけでなく平和問題への取り組みという視点へ拡大し議論をした。この事業は体験した生徒にとって、平和に対して貴重な経験となるとして、全議員がこの事業を残すという意見に合意形成されたことがあった。市民のために何が大切で、何が必要かという観点から討議されている。

●視察地 福島県小野町  
●調査内容 通年議会について

ここ数年、地方自治体の役割は拡大し、事務量は増大しており、これに対応して議会は、さらなる政策立案能力や行政のチェック機能の充実、強化が求められ、議会の主体性、機動性を高めるための議会改革が必要であると感じ取り組んだ。

通年議会制導入の効果については、議長の権限で本会議を開催することができ、行政のチェック機能をより充実強化できる。災害時の緊急対応などに対し、議会の主体性、機動性を高めることができる。通年会期であるため、専決処分が原則なくなる。委員会の所管事務調査を随時に、時期を逸することなく詳細にわたり対処でき、委員会活動を充実させることができる。これまで主に定例会の会期中に行ってきた請願や陳情の審査も、いつでも審査が可能となるため、議長が緊急を要する案件であると判断した請願や陳情につ



いては、速やかに所管の常任委員会が審査を行うことができるようになる。意見書案、決議案など時宜にあった提出や議決が可能になる。年間を通じて議会が開会中であるということ、議員個々の意識改革と資質向上が図れる。以上のことから導入を決めたとのこと。

この調査は、みどり市議会が抱える課題解決の参考となるものであった。

### 議会広報特別委員会

本委員会は平成30年7月9日から10日まで、所管事務調査を実施した。

●視察地 新潟県燕市

●調査内容 議会広報編集に係る全般的な事項について

7月10日は、新潟県燕市議会を訪問し、以前から注目をしていた議会だよりノートブックという名称や、インパクトのある表紙などさまざまな角度から確認した。

特に注目すべきは表紙の獨創性で、画像を見ても斬新さは確認できる。イメージとして学習用ノートを表現し、若い世代の読者開拓をしているのが見て取れる。

みどり市議会だよりも表紙のインパクトには長年気を配り、ひとめ見て表紙が綺麗、市内各所のクローズアップ、さらには、楽しく親しみのある画像などを中心に掲載してきた。研修を終え、紙面そのものを見直すこともインパクトのある

議会だよりになるということも参考になった。



- 視察地 新潟日報社黒埼本社
- 調査内容 新聞ができるまで

7月11日は、新潟市にある新潟日報社黒埼本社を訪問し、新聞の校正作業や編集の留意点などの再確認を行った。みどり市議会だよりは、新聞紙面と同じ校正方法を目指している。校正作業において日常ではなじみのうすい作業を行うので細心の注意が必要である。例えば文末は「何々である。」と言うような「子供」は「調」を使用。「子供」は



「子ども」、「等」は「など」といった表記の決まりもあり、長年委員を経験しても全てを適正に校正することは難しい状況もある。新聞紙面の校正作業を習得することは、重要な委員としての役割でもある。

新潟日報社は、新潟県内の自社報や全国紙6社を含め、毎日約70万部を製版、印刷しているとのことである。

今回の所管事務調査を機に、さらなるみどり市議会だよりの充実推進を目指していきたい。

## 傍聴をお待ちしています

議会では、市のさまざまな計画や市民の生活に直面したことなどが議論されています。

本会議などは、どなたでもご覧いただけますので、ぜひ傍聴にお越しください。

お問い合わせ

みどり市議会事務局 ☎76-1970



## 本会議の中継

みどり市議会を広く市民に公開し、より開かれた議会を推進するため、インターネットによる中継・録画放映を実施していますので、ぜひご覧ください。

ホームページアドレス <http://www.city.midori.gunma.jp/gikai/>

# 市政を問う

※登壇者19名中、18名の質問の主旨を掲載しています。

一般質問

## Q はねたき橋の自殺対策は

## A 桐生警察署と協議している

椎名 祐司 議員



**問** 平成30年8月23日の入札では、落札率99・84%、98・80%など高い落札率となっている。落札率の検証については。

**総務部長** 100%に近い入札もあるが、適正に設計されている。応募者が同様に積算した結果だと考える。あまりにも予定価格に近い入札であれば入札監視委員会で審議される。

**問** 入札案件によっては、落札金額が他の入札業者と大幅に違う場合や、全て

失格や辞退のために入札不調、1社以外にすべてが失格や辞退ということがありますが、市長の考えは。

**市長** 市内業者の受注機会の拡大、地域経済の活性化等を目的に指名競争入札を導入している。今後も、これまで通りに公平、公正、透明性を確保しながら入札を執行していく。改善の必要が生じた場合には、検証し、検討していきたい。

**問** 平成29年群馬県の自殺者数は368人、平成25年から5年間に於ける市の自殺者数の状況は。

**保健福祉部長** 平成25年11人、平成26年17人、平成27年14人、平成28年9人、平成29年8人、5年間で59人となる。

**問** 自殺対策を推進する市

の体制づくりについては。

**保健福祉部長** 全庁あげて自殺対策を推進している。よう「みどり市自殺対策行動計画」を策定している。

**問** はねたき橋における自殺予防対策とその効果について市長の考えは。

**市長** 平成21年度は欄干のかさ上げ工事、平成22年度は橋の両側に看板設置、平成24年度と平成28年度には防犯カメラを設置した。一定の抑止効果は上がっていると考えている。

**問** はねたき橋の自殺予防対策として橋の両側に門扉を設置し、一定時間（例えば夜7時から朝6時まで）通行禁止にするなどの抜本的な対策が必要だと思いが、市長の考えは。

**市長** はねたき橋は市の観光スポットとしても重要な場所であり、マイナスイ

## Q 支障樹木は

## A 通行に支障を来す

古田島 和茂 議員



**問** 道路に覆いかぶさる支障樹木は、諸条件により落

下し通行に支障を来すが、危険性の認識は。

**都市建設部長** 国道などを通る際、大型車両が上部をこすなど通行に支障を来すものと認識する。

**副市長** 降雪時には竹などが道路をふさぐ状況もあり危険性はあると考える。

**問** 支障樹木への対策は。

メージを払拭していかなければならない。夜間通行禁止にする措置も自殺防止対策の一つの方法だと考える。現在、新たな自殺対策として桐生警察署と協議している。



**都市建設部長** 定期道路パトロールを行う中、また情報提供など、国、県道であれば桐生土木事務所に対応を依頼し、みどり市道であれば現地を確認し早急に対応していく。

**問** 市道管理瑕疵による、事故など多発する路線が見られるが、管理体制は。



深澤 輝彦 議員

## Q 降格者への特段の配慮は A 降任希望解消届が提出できる

**都市建設部長** 随時道路巡回パトロールを優先順位により行っている。修復については対応可能であればその場で作業を行うといった安全対策を構じた後、業者に対応してもらおう。前年実績としてシルバー人材センターに委託したパトロールでは、穴埋め作業1135件、清掃作業26件、除草作業69件を行った。

**問** 経年劣化や交通量の多い市道での不具合が見られるが、計画的に補修していく市道改修計画の策定が求められるが。

**都市建設部長** 舗装の長寿命化計画の策定を検討中である。

ある。市道改修計画の策定は有効なものになると考える。

**問** 観光や林業振興などは、花輪宿へのアクセス道路の整備は重要なものとなるが、桐生土木事務所との協議は。

**副市長** 本年、花輪駅周辺活性化プランを東支所で策定する。プランいかんでは花輪宿へのアクセス道路はさらに重要なものとなってくる。平成27年度より桐生土木事務所へ検討を依頼。現時点では、旧道整備が有効と考える。

**問** 市道1級27号線の舗装工事が停滞しているが。

**問** ここ数年、長期の病気休暇の職員が複数出た。病気休暇が出ていることに注目すれば、使用者側にも問題があったとも考えられる。労働関係で、使用者には安全配慮義務が重要。また、安全とはメンタル面も

大事だ。こういった観点からすると、長期の病気休暇を職員の責任にするかのような現状は、理不尽な印象だ。降格後の昇任については、本人の希望が最優先されるが、希望があるなら十分に配慮してはどうか。退



**都市建設部長** 過疎地域自立促進計画での工事である。平成30年度に起点付近の路肩の舗装と路面の舗装を予定している。萬年橋から先500mほどを平成31年度に予定。

職した職員は今さらどうにもならないが、降格した職員に特段の配慮を示すことで、職員全体の士気向上にも役立つのではないかと。

**市長** 降格者は、希望降任制度により、降任した職員という前提で回答する。職員の病気、家族の介護、身体的、精神的に業務遂行が困難な場合などのため降任制度だ。今までの適用者は16人である。この制度は一定期間職員に無理をさせずに、働きやすい職場環境の整備の観点から実施している。管理職などの職員がこの制度を適用したとしても、外的要因が解消されて、職責を果たせる状態が認められれば、昇任をしていくことができる制度である。

**総務部長** 希望降任制度は、一時的な要因があった場合、本人の意向を尊重して降任を認めるということになっている。その後要因が解消された場合には、降任希望解消届を出すことができる。課長から主査になった場合、すぐに課長に復職するのではなく、段階



的に1年ごとに係長、課長補佐、課長と昇任していく形を考えている。16人の適用者のうち、既に1名が解消届を提出している。

**問** 桐生厚生総合病院は、資金繰りが立ち行かなくなり、今回約5億5千万円の4分の1の追加補正をみどり市は受けている。追加で出すにしても何か注文を付けるべきでは。

**保健福祉部長** 基本的に桐生厚生総合病院の内部で検討され、それをみどり市で協議する。個別に意見を出すものではない。

## Q 各種の施設を集積することは

## A 有効な手段だと考える

須永 信雄 議員



**問** みどり市都市計画マスタープランにあるように、総合的、戦略的に都市計画の展開について進めていくとともに、みどり市の広大な市域を考え都市計画を進めるべきだ。公共施設の新設、移転などの場合、駅周辺地域の中で利便性の良い場所に開発誘致していくのが良い方策だ。各種の施設を集積することは、みどり市へ誘客し、転入してもらうポイントだが。

**市長** 駅周辺にそうした施設を集めていくことは、有効な手段だと考える。これから高齢化社会がどんどん進行することによって、自

動車運転免許証を返納する方も増える。ワンストップサービスで、市民がいろいろなサービスを享受できるように進める。

**問** 岩宿駅は、駅の南東側に桐生市場や大型店舗、南西側の方向には、グラウンドゴルフ場、笠懸公民館、笠懸野文化ホール、市民体育館、総合グラウンドなどが並んでいるのがイメージされ、JRを挟んだこの一帯に集積されているのがわかる。国道50号と、大間々世良田線によって、北関東自動車道からのアクセスも良く、国道50号バイパスが完成すれば、交通量が増えると十分想像できる。JRも新型車両を配備する計画を発表している。しかし、岩宿駅の駅舎及び跨線歩道橋は老朽化が進んだ。JRと共同して橋上駅舎に改築すると南北に駅前広場を開発できることになる。結果

として利用者の利便性向上に大きく貢献できるが。

**市長** 岩宿駅については、橋上駅舎構想も含めて検討している。駅周辺に建築物や居住施設を集積し、まあまりのある街にするのは大変重要なことだ。現在の岩宿駅については北側に道路があり、朝晩は渋滞して

困っている。橋上駅舎を造り、南口の駅前広場を開発すると、人の流れも変わり諸問題も解消できると考える。関係各所に指示を出す考えだ。

**問** 道の駅の設置については現実的に50号線沿いにあることが良いと思う。桐生市場を道の駅とすることも考えられるが。

**市長** 国道沿線にあることも重要だが、道の駅に魅力があることが必要だ。目的化できるよう検討する。

## Q 養護老人ホーム設置の目的は

## A 社会復帰、自立訓練など

須藤 日米代 議員



**問** 養護老人ホームとは、どのような施設なのか。保健福祉部長 65歳以上で環境上の理由がある方、居

宅において養護を受けることが困難な方が入居する施設である。群馬県内には17施設、みどり市には1施設ある。

**問** 養護老人ホームの設置目的は。

**保健福祉部長** 自立のための訓練、本人の社会復帰への支援など。

**問** 市内養護老人ホームの概要は。

**保健福祉部長** 市内にある養護老人ホームは高津戸荘だ。定員50名、個室25の2人部屋。鉄筋コンクリート造りの平屋。昭和56年4月設立。設置主体は社会福祉法人柏だ。

**問** 現在の入所者数と平均年齢は。

**保健福祉部長** 平成30年8月20日現在、入所者は45人、そのうちみどり市内は





高草木 良江議員

## Q 不育症への支援をしていくべきでは A 治療費助成事業と相談体制の整備など検討したい

29人、平均年齢は84歳だ。  
**問** 入所方法は。  
**保健福祉部長** 申し出を受け、入所判定委員会で適正な措置を決定する。  
**問** 運営が成り立つ入所者の数は。  
**保健福祉部長** 定員50名の90%から95%ないと厳しい。  
**問** 市側と養護老人ホーム施設長との情報交換は。  
**保健福祉部長** 定期的ではなく必要に応じて意見交換している。  
**問** 市長の養護老人ホームについての今後の考えは。  
**市長** 必要性を認識しながら関係各位と連絡を密に

し、方向性を出していく。  
**問** 草木ダム放流時の連絡は。  
**危機管理監** 洪水調節として、ダムに流入する水量が毎秒500トンを超えたときから放流を行う。30分前に市に連絡する。毎秒640トンを超える放流がある場合は、3時間前までに市長に連絡がある。  
**問** 避難所設置の対策は。  
**危機管理監** 地域をよく知る行政区、自主防災組織と連携を取り安全に誘導する取り組みを強化する。  
**問** 自主防災組織の現状は。  
**危機管理監** 32行政区のう

**問** 不育症は子どもを望む家庭にとって、不妊症と同じく重大な問題。少子化対策としても支援をしていくべきでは。  
**保健福祉部長** 不育症の治療費助成事業は、経済的な負担軽減と子育てにつな

がるので前向きに検討したい。  
**市長** 専門的な相談員に寄り添った相談体制整備と、患者目線に立ち安心して治療が受けられるように検討していきたい。  
**問** 山間地域の住民を守る



ち23行政区、67・3%だ。  
**問** 市内の地域間協定は。  
**市長** 笠懸町第1区、2区、3区は防災活動協定を結んだ。自主防災組織、小学校区域などの連携強化を進めたい。

減災対策には、砂防ダムの設置拡充と既存の砂防ダムの管理や整備が重要だが。  
**都市建設部長** みどり市内の砂防ダムは合計18カ所。平成30年度は5カ所の整備を進めていく。点検は群馬県が専門業者に委託して、平成28年度16カ所実施した。  
**高草木** 群馬県ではなく、みどり市が直接地域を把握して、市民の命と財産を守るために管理していただきたい。  
**問** 市内に522カ所の土砂災害特別警戒区域があるが。  
**都市建設部長** 平成30年度は急傾斜対策事業等、全7事業を実施する。  
**市長** 群馬県に急傾斜地崩落対策事業の一層の推進及び既存施設の機能増進、維持管理の充実強化も併せて働きかけていきたい。砂防ダムに土砂などが堆積していると、機能が果たせない点検は重要と考えている。  
**問** 国は河川に水位計を設置して避難の体制づくりを



進めている。みどり市に道路高架下の水位計の設置は。  
**都市建設部長** 洪水時の警報や避難判断に特化した危険管理型水位計を平成30年度、渡良瀬川や小平川など、5つの河川6カ所に設置予定となっている。また高架下の水位計は、阿左美アンダーの改修工事に合わせて水位計の設置も検討したい。  
**問** 浸水被害の危険性が高い笠懸町の水路整備の考えは。  
**都市建設部長** 各土地改良区の水路管理者と連絡を密に対応したい。また笠懸町地域雨水排水計画に基づき対応し、これらの対策を関係部局で連携して浸水被害の改善を図っていきたい。  
**市長** 用水管理者の意見などを聞き、情報を共有し浸水被害箇所での改善を進めたい。

## Q 雑排水の状況については

## A 雑排水が流入しているため河川に環境負荷をかけている

杉山 英行 議員



**問** 大間々町内の下水道の整備状況と流末処理について、どのようになっているか。

**都市建設部長** 平成29年度末の大間々町の整備率は全体計画で32・8%、事業計画区域で68・8%である。大間々町における雨水事業については、昭和39年度から雨水排水を目的として雨水管渠の下水道の整備を進めて平成9年度に公共下水道に移管している。汚水の流末処理は桐生市広沢町の水質浄化センターで処理をしている。雨水については渡良瀬川に放流している。また、大間々南下水道雑排

水浄化施設については、処理能力は一日当たり最大1900m<sup>3</sup>である。処理後の排水は桐生市との協定で桐生相生幹線に放流。

**問** 未接続の状況と要因は。  
**都市建設部長** 約3割の方が未接続で、要因は負担金、使用料、宅地内工事費などで、支払困難であるとの理由や高齢者世帯で多額の費用負担で下水道に接続しにくい状況もある。引き続き接続のお願いを担当者がしている。

**問** 雑排水の状況については。  
**都市建設部長** 雨水管渠に雑排水が流入しているため河川に環境負荷をかけていることは認識している。また、渡良瀬川への放流水は年6回の水質検査をして水質基準は満たしている。汚濁や臭気のこともあり、清掃作業も実施している。

**問** 市内各所の水質検査を

行っているのか。

**市民部長** ながめ南多目的運動広場先の放流水のほか笠懸町内で農用水路10カ所、沼で8カ所を行っている。おおむね基準値内であり、年2回の水質検査をしている。

**問** 流末処理場を設置する

## Q 緑や自然を活かした開催方法、会場は A イベントを継続し充実していく

武井 俊一 議員



**問** 市長は、交流人口を増やし定住人口につなげる具体策として、市内観光資源の発掘、文化遺産の活用などみどり市の魅力、地域

考えは。  
**都市建設部長** 国、県と協力して合併浄化槽の設置に補助金を出している。また流末処理場の計画はなく、合併浄化槽の推進を図る。



の特性をさらに磨き上げ伝える活動が重要としているが、市内の観光資源の発掘について、具体的にどのようなものが考えられるか、どのような基準、方法で新たな観光資源を発掘するのか。

**市長** みどり市は、歴史、文化、自然なども豊富であり、それらを生かした素材はたくさんあると認識している。市民と協力し新たな

素材発掘が必要と考える。あらゆる機会を使い情報収集、工夫を行っていきたい。

**問** 定住人口増加に市内観光資源、文化遺産の活用では何を重点とするのか。  
**市長** みどり市にある自然や歴史文化、そこに暮らす人々の持つ光を内外に発信することが大切と考える。市民がみどり市に暮らすことに誇りを感じることも大切。総花的でなく、みどり

の特性をさらに磨き上げ伝える活動が重要としているが、市内の観光資源の発掘について、具体的にどのようなものが考えられるか、どのような基準、方法で新たな観光資源を発掘するのか。

※桐生相生幹線…桐生市の都市下水道。



新井 みゆき 議員

## Q 市民からの提案や意見の取り扱いは A 市政に反映できるよう対応している

市の個性が失われないように国指定史跡の岩宿遺跡と西鹿田中島遺跡、あかがね街道、わたらせ渓谷鐵道や周辺の景観を活用し、多くの来訪者につながる観光政策に積極的に取り組んでいく。

**問** みどりの日は、国民の祝日に関する法律で、自然に親しむとともにその恩恵に感謝し、豊かな心を育む、としているが今後の、みどりの日催事はどのように取り組むのか。

**産業観光部長** グリーンだよ！全員集合では、みどり市らしさを組み入れていくことが課題と認識してい

**問** 今後も安心して暮らせる東町であるためには。  
**市長** 観光資源、歴史文化遺産を活用し交流人口を増やすことによりにぎわいが生まれ、雇用も創出される。また、地域おこし協力隊制度を充実させ、今までと違

る。自然に親しむ観点では、市産材を使った工作教室、岩宿遺跡をPRする黒曜石を使った石器づくりなど体験型のイベントを組み入れることを考えている。  
**問** 2020年5月4日は群馬\*ステイネーションキャンペーンの真つただ中、みどりの日催事は、こぢんまりしないので、緑や自然を生かした開催方法、会場について発想を広げ考えては。  
**市長** みどりの日は、みどり市のための祝日と感じる、催事を実施することは、市の知名度向上に重要な日であると認識している。現

う視点や発想などにより移住、定住を促進したい。  
**問** 産業の観点から、東町のための施策は。  
**産業観光部長** 平成27年に、わたらせ森林組合の地域材加工センターが稼働し間伐材などの搬出先の確保

を実施しているグリーンだよ！全員集合は、イベントが徐々に認知されてきている。イベントを継続し充実していくことが重要と考える。  


ができた。平成30年4月には住友林業が萩原地区で、わたらせ樹木育苗センターを竣工させ苗木生産が始まり、東町における林業振興が主要な産業の一つになる。  
**問** 人口増加につながる、あずま小学校の方向性は。  
**教育長** 9カ年の教育の導入が、あずま小、中の特色を生かすのではないか。この構想の中で教育課程にゆとりを持たせ、地域により密着した学習ができれば、児童が東町に愛着を持ち、良さを発信してくれるのではないか。また、学校の運営については、議員制度を取り入れているが、今後は学校運営協議会制度を導入し、学校と保護者、地域が共に知恵を出し学校づくりを考えるのも一つの方向性だ。  
**問** 大間々町再生のビジョンは。  
**市長** 市民や事業者、まちづくり団体と協力しながら観光振興、商店街の活性化を一体で進めていきたい。



**問** 大間々町にある歴史的建造物の維持活用は。  
**産業観光部長** 貴重な存在であるが、所有者が高齢になり維持が難しい場合もある。修繕費は、保全修理などに對する補助はないが、活用方法を含め研究する。  
**問** 市民からの提案や意見の取り扱いは。  
**副市長** 各団体や商工会、協議会、研究会などからの意見は、所管部署に對応を指示した。各部署長を集め、関係者会議も開催している。直接市長に、提案や意見をした場合も、みどり市に有益なことならば、対応を検討させる。市民提案型の意見や提案は、適切に對應し、市政に反映できるよう検討する。

\*ステイネーションキャンペーン…JR グループ旅客6社と指定された自治体、地元の観光事業者などが共同で実施する大型観光キャンペーン。

## Q 桐生市との合併や広域事業の関係はどうか

## A 合併は、民意の反対で時期尚早、と引き継いだ

海老根 篤議員



**問** 桐生市との一般市民には理解しがたい合併や広域事業の関係はどうか。これについて再度聞か。

**市長** 民意は合併反対が6割だったので時期尚早と判断したと、前市長から引き継いだ。広域事業は応分の負担で継続する。

**問** 桐生市との合併は拒否し、前市長が言う自己完結、旧3町村の一体化もままならない、この今の現実をどう考えるのか。

**市長** 両市民が不利益を被ることがないように、全力で取り組んでいく。

**問** 住民サービスを旧来よりも低下させた水道共同事

業からは撤退するか。

**市長** 現在の共同事業を維持し、前に進んでいく。

**問** 桐生厚生総合病院の突然一方的に変更された負担金については。

**市長** 病院経営がしっかりと成り立つように取り組んでいく。

**問** この問題への市の拱手傍観が、総額11億円という、さらなる肥大化した問題を生んだ。この平成28、29年度の桐生地域医療組合議会についての、市長の考えを伺いたい。

**市長** 再三の答弁になるが市民の不利益にならないよう取り組んでいく。

**問** 市長の多選について。前回の市長の答弁は肩透かし、不誠実だったので再度お伺いしたい。

**市長** この4年を全力で取り組んでいく。

**問** その時々気分、体力次第で何期でもやるのか何

期まではやるのか。

**市長** 今の時点では、この4年を着実に取り組む。

**問** 多選も、世襲も無投票も三パン選挙も根は同じ金権である。市長に当該認識のありやなしや。

**市長** 選挙時に約束したことを着実に実行する。

**問** 平成26年4月に本市と

## Q 老老介護をどうする

## A 支援策の充実を図る

上岡 克己議員



**問** 日常的に高齢者の暮らしを、見守り支える仕組みづくりについての考えは。保健福祉部長 現在の少子

の間で10年契約を結んでいたという競艇事業会社との関係について、契約の内容などを検証して、より本市に利益になるよう見直しをする考えは。

**市長** 平成26年4月1日基本合意書に基づき、市の財源を確保していく。

高齢、人口減少の社会では、人と人とのつながりが希薄となり、地域で問題を解決する力が弱まってきている。一人暮らしや高齢者夫婦世帯が増える中、高齢者が抱える問題や心配ごとが、早期に把握でき、解決につながる仕組みづくりが重要と考えている。多様な支援活動により、高齢者の生活を支えられるように、

地域の理解と協力を得ながら進めている。民生委員や各行政区の福祉部会、地域包括支援センターなどで声掛けなどの対応をしている。また、みどり市では、郵便局や農協などと連携協定を結び、高齢者の安否確認をお願いしている。  
**市長** 少子高齢化、核家族化などにより近所づきあいが減少している。家族や地





荻野 忠 議員

## Q あまりにもひどい数値 A 交付税の減少があった

域で相互に支え合う慣習が弱まり、社会的なつながりが希薄化している。そのような状況を受け、地域包括ケアシステムのさらなる発展、深化を図るとともに、市民の皆さんが、住み慣れた地域で安心して、暮らししていくことを目的に、いつまでも自分らしく輝けるみどり市長寿プランのもと、地域全体で支え合うまちづくりが大切と考えている。

に考えているか。  
**保健福祉部長** 就労している介護者は、介護と就労の継続に難しさを感じている人もおり、介護の重度化などが進むことなどで就労に支障が出てくることも考えられる。介護負担を軽減し、本人と家族が安心して、生活していけるような家族介護の支援策の充実などを図る必要があると考えている。



**問** 経常収支比率が平成28年度の94・6%から平成29年度は99・0%になったが認識は。  
**総務部長** 財政が硬直している数値だ。90%の前半にしたい。  
**問** あまりにもひどい数値

だ。1%しか投資に回せないことになる。悪化した要因は。  
**総務部長** 算定替えのために交付税の減少があった。また給食費の無料化などもあった。想定された数値と把握している。

**問** 想定された数値とは意外だ。給食費の無料化や普通交付税の減額など年度当初からわかっていたはずだ。足らなければ財政調整基金を取り崩せばよいという問題ではない。悪化の原因のひとつに、職場の雰囲気や風通しの良くない部署もあるように受け止められている。組織疲労が起きているのではないか。この辺にも経常収支比率の悪化の原因があるのでは。  
**副市長** 指示してきた立場から、余裕のある取り組みを考えるよう、反省したい。  
**問** 議会側に説明もなく予算化している事業もあり、計画性のない放漫経営ではと感じる案件もあったが。  
**副市長** 議会に説明不足もあったと思うが、優先的な事業から計画的にやってみよう。議会への取り組み方は考えたい。

みどり市経常収支比率の推移 (単位: %)

平成23年度	87.0%
平成24年度	89.0%
平成25年度	87.5%
平成26年度	90.7%
平成27年度	90.0%
平成28年度	94.6%
平成29年度	99.0%

の税金を使い撤去するようになる。市町村合併の基本を忘れたのか。スクラップ&ビルドという観点からは程遠いように思う。この他、産業観光部の委託事業やサンレイク草木のように、補助金を出している事業もある。逆に補助金を付けてでも無償譲渡してしまった方がよいのでは。  
**副市長** そのような考え方も考慮しており、経営したい事業者がいれば考えた。

**問** 90%を目指したいと記事に書かれていたが、行政サービスを落とさずにどのように取り組む考えか。  
**市長** 財政数値を注視し、スクラップ&ビルド事業などは市民にわかりやすく説明して、任期中に90%に近づけたい。

※経常収支比率…財政構造の弾力性を判断。低ければ低いほど財政運営に弾力性があり、政策的に使えるお金が多くあることを示している。

## Q 新庁舎を造るのが望ましい

### A 市民の意見を聞きながら結論を出したい

阿左美 守議員



**問** 総合庁舎と総合サービス型分庁方式をどのように考えているか。

**市長** 4つの庁舎、支所を総合サービス型分庁方式として活用している。合併後の混乱や利便性を考慮して合併協議会で決められた。

**問** 庁舎のあり方検討委員会の発足は。

**総務部長** 東日本大震災や熊本地震などから防災拠点としての庁舎のあり方、総合サービス型分庁方式の検証の必要性から委員会を発足した。

**問** どのように検討したか。

**総務部長** 課長補佐級を中

心とする、3つのワーキンググループを設置した。市民サービス、防災、庁舎管理の3つのグループでは新庁舎を建設するのが望ましいとなった。庁舎管理は建物の構造上の課題は改修では限界、事務が分散され非効率。市民にはワンストップサービスができる、プライベートシー保護の相談室の設置のハード面の向上。防災グループは、防災拠点としてのIs値を満たしてない現庁舎を防災拠点とするのは難しい。

**問** 今後の対策は。

**総務部長** みどり市公共施設等総合管理計画の個別施設計画策定の中で2年間で行う。

**問** 検討委員会の結果を踏まえての考えは。

**副市長** 庁舎のあり方については平成29年度職員アンケートから始まり全庁を上げて取り組み、これから具

体的に決定する。多額の建設費がかかるので、議会、市民に向けてどのように説明していくか理解を求めていく。

**問** 合併特例債の期間内に早めに決めてほしい。

**副市長** 合併特例債の地方交付税措置率は90%から、95%ぐらいある。

## Q 介護保険の補完施策とは言い難い

### A 補完施策と言えるところを精査する

宮崎 武議員



**問** 介護を余儀なくされた市民に対する思いは。

**市長** 地域や自宅で、安心して生活できるよう対応

**問** 新庁舎を造るのが望ましいが。

**市長** 庁舎のあり方検討委員会では新庁舎を建設するのが望ましいと結果が出ている。今後個別計画を策定する際に尊重するよう、市民サービスの低下のないよう指示、市民の意見を聞きながら結論を出したい。

したい。

**問** 平成12年の介護保険法改正から18年が経過している。進展している介護機器への対応が遅れているが。

**保健福祉部長** 対応が遅れている部分がある。

**問** 介護保険法では、和式便座を腰掛式補高便座に交換する場合、たまたまウォシュレットがついている物は可とするが、ウォシュレ

ット単体の設置は不可となっているが理由は。ウォシュレット便座であれば、自己負担金が発生しなくとも設置ができる住設メーカーもあるようだが。

**保健福祉部長** 現在の介護保険法は、安全性重視などのため指摘された対応だ。

**問** みどり市では、自宅介護がしやすい住宅改修などを希望している介護認定者





田部井 多市議員

**Q** 生活保護世帯、低所得世帯へのエアコン設置助成を  
**A** いろいろな観点から検討したい

に利用基準はあるが、群馬県及びみどり市で介護保険限度額プラス50万円の補助が平成18年から施行した。要綱を再確認したが、介護保険の補完施策とは言い難い。使いやすく改正を。

**市長** 補完施策になるよう精査する。

**問** 高齢者SOSカードについては、平成29年9月議会で、使いやすいものに修正配布するとの回答だ。対応がないまま1年を経過したが。

**保健福祉部長** ITの進展で手の平による静脈認証も検討材料にある中、緊急連絡先などが登録されていな

い独居高齢者もいる。精査して早期配布に向け推進したい。

**問** レーザー加工品をみどり市の目玉にしたいなどの施策当初の趣旨を確認する。

**市長** 平成25年度から実施。当初の趣旨は、先進性、PR効果、地場産業推進などを目指したものだ。現状打開のため、トップセールスを行い、さらなる販路拡大を目指す。

**問** PRや財源確保に良い施策と捉え販路の紹介や、提案などを行っているが現状では、施策を打ち切らざるを得ない状況も考えられる

**問** 猛暑の中、各小中学校では熱中症予防をしていると思うが、どのような対策をとっているか。

**教育部長** 保護者に注意喚起のメールや各学校にも再三注意喚起を行っている。平成26年度にみどり市内小

が。

**東支所長** 今までは、みどり市PRを第一に進めてきた。今後は、林業振興、財源確保などの経営感覚を念頭におき、指摘されている売上目標も決めた中、推進する。



中学校全てにエアコンを設置し、室温を28度以下に保ち教室内は学習に適した環境になっている。また校庭や体育館では指導時間の変更をしたり小まめに生徒の体調を確認している。気温があまりにも高いときは校

庭での外遊びを禁止し、中学生には無理のない部活動を指導している。各学校が注意をして丁寧な対応をしてきたことで大きな事故もなかった。今後も気を緩めず安全安心な学校運営に取り組んでいく。

**問** 移動が困難な高齢者や障がい者の中でエアコンもなく、高温の中、何らの対策も取れずにいる人もいると聞く。担当課で把握しているか。

**保健福祉部長** 障がい者相談支援事業所に問い合わせたところ、エアコンのない方が2名いるが、いずれも移動が困難ではない。また高齢者に関しては地域包括支援センターに問い合わせたところ、市内では12件該当者と思われる方がいるが、詳しい内容は把握していない。

**問** 厚生労働省は本年より生活保護世帯にエアコン購入費助成を条件付きで認めた。これによりみどり市の生活保護世帯のエアコンの普及率は上がったか。

**保健福祉部長** 生活保護家

庭では厚生労働省のいう条件にあった該当者はいない。

**問** 今年の暑さはまさに殺人的だ。これを災害と捉え、みどり市民の生命を守るのを最優先と考え、生活保護者だけでなく低所得者にもエアコン設置への助成を考えては。

**市長** 税の公平性を担保する必要がある。まずは生活保護世帯、低所得者世帯などの実態やニーズをしっかりと把握していろいろな観点から検討したい。



# Q 地方交付税はいくら減額になるのか

## A 4億1509万9000円と見込まれる

伊藤 正雄 議員



**問** 平成29年度の経常収支比率は99%、対前年度比で4・4ポイント上昇した。財政構造の弾力性がない。要因として合併後10年が経過し、地方交付税の算定替えと学校給食費の無料化が指摘されている。地方交付税の算定替えは一時、約12億円ほどになると言われたが、この5年間で地方交付税はいくら減額になるのか。

**総務部長** 平成28年度から32年度まで段階的に減額になる。平成33年度には4億1509万9000円と見込まれる。

**問** 学校給食の無料化の財

源は競艇事業からと言ったが、実際は財政調整基金の取り崩しで行っている。基金の取り崩しでは事業が続かないのでは。

**総務部長** 基金の取り崩しで出発したが無料化は将来に対する人口対策の一環として行ったものだ。改革を進める中で財源を確保したい。

**問** 職員の管理職希望に関するアンケート調査がされているが結果は。

**総務部長** 平成27年度の調査では管理職を希望しない者は、全体で38・3%。内訳は男性で27・6%、女性で57・7%だ。自信がない、責任の重い任に就きたくないなどが主な理由。

**問** 管理者を希望する者は低調となっている。やる気の出る職員意識の改革が必要では。

**市長** 職員の意識を改革しモチベーションを高め、無

駄をなくし、市民に役立つ環境をつくりたい。

**問** 仮称西鹿田グリーンパークのスケジュール、ランニングコストについては。

**都市建設部長** 都市計画審議会で審議した中では、教育委員会が主管となり平成32年度から34年度にかけて陸上競技場、公園の基本設計を進め、平成37年度完成に向けて進めている。

**問** 6月の大阪府北部地震でブロック塀が倒れ、小学

教育部長 土地約4億円、公園施設で約9億円の合計約13億円。ランニングコストは年600万円程度を想定している。整備及び管理時の財政計画については、これから詳細な調査を行い、整理していく。

**問** 都市計画審議会では、この施設は人口減の中で必要なのか。また、収入が見込める工業団地にしたら、との意見もある。大間々の運動場は借地で既に1億円払ったと言われる。既設の施設の見直しや広域事業で運営すべきでは。



**市長** 人口減少時代を迎え、指定管理者制度や経費がかからないよう対応したい。

# Q 市有施設の調査は

## A 24施設が基準に適合していない

常見 詔子 議員



4年生の女兒が死亡した事故を受けた調査の状況は。

**教育部長** ブロック塀は1園2校に4カ所あり、うち建築基準法に適合しない2カ所と、通学路に接する点検で桐原グラウンド、教育庁舎、陶器と良寛書の館の改修も必要だと確認した。

**問** そのうち教育委員会関

係の9月補正予算は。

**教育部長** 笠懸幼稚園北側ブロック塀、桐原グラウンド、教育庁舎の塀、陶器と良寛書の館の塀の4件。

**問** 市有施設の調査は。

**総務部長** 市有施設全ての調査を実施した。壁の高さが2・2mを超えているか、壁の高さが2m以下の場合



大澤 映男議員

## Q かたくりの湯移転は A 新築移転の方向で

は壁の厚さが10cm以上あるか、2mを超えている場合は15cm以上あるか、壁の高さが1・2mを超える場合に控え壁があるか、破損やひび割れが入っているか、以上4点の調査の結果、ブロック塀設置が81施設で、そのうち24施設が基準に適合していない。

**問** その他の道路に面したブロック塀などは民間所有のものもある。行政が率先して点検をし、財政援助も含めてできないか。

**都市建設部長** ブロック塀の安全確認については自己点検のポイントを市のホームページに掲載している。

**問** 民間のブロック塀は自己責任で点検し、自己負担で改修する。費用への助成が必要ではないか。洪川市では道路に面した倒壊の恐れがあるブロック塀を除去し塀を新設するとき、代替品に切り替えるときに最大15万円の補助を実施するが。

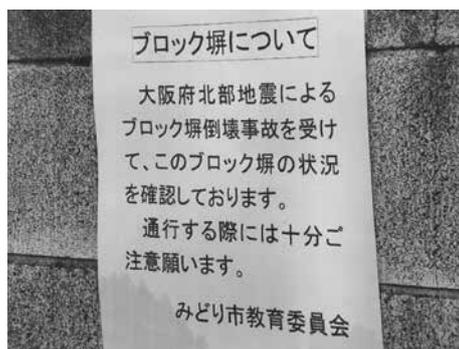
**都市建設部長** 先進自治体の例を調査研究したい。

**問** 家の周りや通学路などどこが危ないか認識し、身を守る行動へとつなげるために、小中学校ではどんな防災教育をしているのか。

**教育部長** 土砂災害警戒区域に指定されている学校で

**問** 県道大間々世良田線バイパス、国道前橋笠懸道路の進ちよく状況と完成の見通しは。

**都市建設部長** 県道大間々世良田線バイパス笠懸敷塚工区は、平成29年度に国道50号線北側の市道に擦り付



は、危機管理課と連携した避難訓練を実施している。また、通学路の安全マップの確認や登下校時の訓練も含め危険箇所の把握と対処について認識させている。

ける形で供用開始となった。平成30年度は、市道取付部の未買収地の用地交渉や工事を実施し平成31年度は、前橋笠懸道路までの用地測量、調査を行う予定となっている。完成は平成35年度を予定。前橋笠懸道路

以北は地元の意見を確認しながら平成30年度にルート案を決定する。前橋笠懸道路の整備は、平成30年度国道50号バイパス建設促進期成同盟会総会の報告で、平成30年度は前橋市今井町から前橋市二宮間の現道拡幅区間の調査設計を行う予定。笠懸工区は事業の環境が整っていないので整備促進と早期整備を要望している。前橋笠懸道路の完成については、未定となっている。

**問** 日光と富岡製糸場の世界遺産ルートからの観光客をみどり市に誘客したいと聞くが市長はみどり市のどこへ観光客を招きたいか。

**市長** みどり市にはたくさん観光資源があると思っている。関東の世界遺産は日光の社寺と富岡製糸場だけ。この2つを連携させることにより、世界遺産ゴールデンルートと名付け誘客できないか。日光市と連携しながら色々な政策を考え誘客を図りたい。みどり市には岩宿遺跡や西鹿田中島遺跡、ながめ余興場、富弘美術館など適所が多くある



と認識している。

**問** かたくりの湯について、市長に意見書を提出したが。

**保健福祉部長** かたくりの湯施設整備方針会議が平成29年3月に提出された、源泉地に近い場所に移転新築という基本方針が示されている。市民ニーズに対応できる施設配置や集約などの検討も行いたい。早期着手を目指したい。

**市長** 開館して20年以上が経過し施設の老朽化も著しい。平成27年に実施した劣化診断では今後10年間にかかる修理費は約1億円と試算された。関連施設の統廃合も踏まえて新築移転の方向で検討したい。



大間々町  
前原 愛華

新しい家族

私には、8月に新しい家族ができました。それは弟です。

弟が生まれてから、毎日抱っこやおむつの交換などをしていきます。まだ体は小さく、とても可愛いです。でも、1カ月検診に行ったときは、身長は3センチ伸び、体重も1キロほど増えていました。母のおなかにはいたのにこんなに大きくなり、「命って、すごいな」と実感しました。時には大変だと思うこともあり、協力して世話をしています。私もたくさんの人に支えてもらっているの、感謝しています。

これからも感謝の気持ちを忘れずに、弟と一緒に成長していきたいです。



笠懸町  
橋場 幸夫

上野唱歌

先日、笠懸公民館の喫茶店を応援する音楽会で「上野唱歌」（こうずけしょうか）の抜粋を聞きました。

群馬の名所旧跡を織り込み49番まであるそうで、一番の歌い出しは「晴れたる空に舞う鶴の姿に似たる上野は」というもの、そうです「鶴舞う形の群馬県」上毛カルタの基礎になった歌と聞いて驚きました。

作ったのは「うさぎとかめ」などの作詞で有名な、みどり市東町出身の石原和三郎氏、明治33年に発表されました。県民が子どもの頃から親しんだカルタができ上がる様を想像すると口マンを感じますね。

国会図書館のホームページで全文を閲覧できます。



東町  
古美門 愛子

助け合いの輪

私達の東町は自然豊かな山間の地域です。最近各地で起きている災害はともな人ごとや他の所の話とは思えません。

先日、日本赤十字奉仕団東支部の立ち上げに誘われました。何かあったとき、私にもできること、炊き出しの手伝いならできるかも、と思い参加を決めました。高齢化が進んでいる中、まだまだ元気な先輩達が婦人会活動として地域を守ってこられました。

地域ごとの集まりもあるでしょうが、人口減少高齢化で若い人が少なくなっています。今度はチョット若い人達が頑張って助け合いながら少しずつ輪を広げていけたら、と願っています。一緒にやってみませんか。

編集後記

第3回定例会は、決算議会とも呼ばれ、文字どおり平成29年度会計の決算特別委員会が設置されました。9月12日から18日までの4日間は、一般会計から競艇事業特別会計までの15会計を集中審査しました。

質疑内容も市民生活の安心安全のために、予算の執行が公平公正、効率的に行われたかなどを審査し、市民から負託された行政のチェック機能として、働かせていただきました。

さて、9月28日に平成30年度みどり市戦没者追悼式がながめ余興場にて厳粛な中で執り行なわれました。戦禍により命を落とされた皆さまに、心より哀悼の意を捧げます。

今、私たちが享受している平和な生活は先人の方々のおかげと改めて感じました。

今年は、大型台風の到来により西日本を中心に全国的に大きな被害をもたらしました。また、大阪や北海道では、地震による大きな災害も発生いたしました。尊い生命が奪われ、残されたご家族の皆さまの心中を考えますと、ただただご冥福を祈るばかりです。

いつ起こるかかわからない自然災害などに、十分対応できるみどり市であるように傾注してまいりたいと思います。

(新井みゆき)

編集委員

- |      |       |
|------|-------|
| 委員長  | 宮崎 武  |
| 副委員長 | 須永 信雄 |
| 委員   | 椎名 祐司 |
| 〃    | 武井 俊一 |
| 〃    | 須藤日米代 |
| 〃    | 新井みゆき |
| 〃    | 深澤 輝彦 |

○発行/みどり市議会  
〒376-0192 群馬県みどり市大間々町大間々1-5-11  
電話0277(76)1970 FAX0277(76)1952

○ホームページ/ <http://www.city.midori.gunma.jp/gikai/>  
○編集/みどり市議会広報特別委員会 ○印刷/太陽印刷工業株